



# THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ  
2017年度~2018年度  
6月報 Vor. 118  
強調月間テーマ

国際会長主題 : とともに、光の中を歩もう  
アジア地域会長主題 : ワイズ運動を尊重しよう  
東日本区理事主題 : 広げよう ワイズの仲間  
関東東部部長主題 : 義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう  
茨城ワイズ会長主題 : 「ワイズはYMCAの「お兄ちゃん」へ！」

## 評価

### 6月例会プログラム

と き : 2018年5月11日(金)  
19:00~21:00  
と ころ : YMCA会館新館3階

司会 土谷 明男

開会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男  
ワイズソング  
ワイズ信条

- 1 自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のために YMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとうろう
- 1 会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝

次年度運営に関する協議

ハッピーバースデー&  
おめでとう結婚記念日

スマイル ドライバー

報告と協議

茨城YMCA報告 大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男

## リスペクト?

井上 恒久

大学のアメリカンフットボールの試合で、プレーが終わったあとの「悪質タックル」で相手の選手に怪我をさせたことが話題になっている。また悪質タックルした選手よりも、悪質な反則プレーを指示した監督が今後どんな処分を受けるかに関心が集まっている。

反則を指示した監督のことはさておき、スポーツの試合で行われた「悪質タックル」に関連して少し考えてみる。

これに関して、スポーツ界の著名人から、「相手の選手をリスペクトしていれば、相手に怪我させることを目的とする悪質なプレーを、選手がすることは絶対にない。」というコメントがあるのをよく聞く。つまり「悪質タックル」をした選手には相手へのリスペクトの気持ちがない、あるいは監督が絶対的な存在で選手が従わざるをえないかのどちらかだということである。

自分も運動部で中学から高校までサッカーをやってきたが、部活で先輩から技術的なことは教わったけれども、「相手の選手をリスペクト(尊重)しなさい」と教わったことは特にない。一方こどもの頃から、最近では幼稚園や小学校の運動会でも「正々堂々と頑張ります」という選手宣誓を聞くように、「正々堂々」は日本では普遍的な道徳と言えよう。ところが、部活などで一生懸命スポーツをやればやるほど、勝とうとして「正々堂々」が押しやられていってしまう。

勝利至上主義に負けない「正々堂々」のスポーツはどうしたら育つのだろう?

自分も、日本チームを応援すればするほど、相手がミスればいいという気持ちが湧いてしまう。オリンピック、フィギュアの羽生選手の演技に感激したのもつかの間、次のスペインの選手の演技には「ミスしますように」と願ってしまうのだ。

羽生選手は自分の演技が終わった直後に足首を握った。まず痛みを耐えた足首に「ありがとう」と言ったのだと思う。あの時、次のフェルナンデス選手のことは考えていなかったに違いない。それだけ集中していたと言えばそれまでだが。

「いつでも変わらず、自分がどんな状態のときでも尊重してくれる方がいらっしゃる」—その確信があると、感謝の気持ちや相手をリスペクト(尊重)する気持ちがゆらぐことはない。正々堂々のスポーツマンシップが育つために、YMCAのCの力が支えて下さいますように。

### 5月例会報告

出席者 会員7名 メネット 1名  
スタッフ 2名 リーダー 0名  
ゲスト1名 出席総数数 11名  
在籍者会員数 13名 会員出席率 54%

今月の聖句

それはからし種のようなものです。地に蒔かれるときは、地に蒔かれる種の中で、一番小さいのですが、それが蒔かれると、生長してどんな野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、その陰に空の鳥が巣を作れるほどになります。 マルコの福音書 4章31節～32節

【茨城ワイズ 5月例会報告】

5月例会は、茨城LD等発達障がい親の会「星の子」代表井寺様をお招きしまして、昨今の発達障がいに関して幅広いお話をいただきました。ワイズメンバーの知人でお孫さんが発達障がいと診断された、という方もゲストとして参加されました。

以下、ポイントとなった部分を共有します。

- ・現在では通常の学級に在籍しながら個別的な特別支援教育が受けられる制度が整いつつあるが、現場では対応に混乱している
- ・4・5歳の時にしっかりとした検査で発見できれば、充分な対応ができる
- ・発達障がいの割合は全体の6%。うまく育った場合は専門職などに就き露見しないケースも。また大人になって発見されるケースもある。男児の割合が多いように見えるのは、より露見しやすいためと考えられる。

有意義な卓話となりました。茨城YMCAにおいても、なんらかの障がいを抱える子どもたちも健常児童と一緒に受け入れてプログラムを行っており、成人した後もレクリエーションプログラムを実施しております。

◆次回例会予定 7月13日(金)



【第21回 東日本区大会報告】

◆6月2日、3日に開催された東日本区大会について、茨城クラブからは片山ワイズが参加いたしました。ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会委員として、3日のプログラムにおいて、プレゼンの機会を持ちました。片山ワイズは、2019年7月に仙台で開催いたしますアジア大会の実行副委員長、広報委員長の役目も担っております。

◆ワイズの目的は『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、大澤までお申し出下さい。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

茨城YMCA 報告 大澤 篤人

- (5月の予定)
- 7日 早天祈祷会
  - 7日 主任会
  - 9日 職員礼拝・職員会
  - 12日 小学生定例野外活動 つくこんクラブ
  - 13日 高学年定例野外活動 トムソーヤ
  - 14日～18日 モンゴル留学生受け入れプログラム「みらいへぐール」準備出張
  - 15日 児童クラブ研修@牛久センター
  - 19日 大曾根児童館デイキャンプ「おひさまデイキャンプ」
  - 21日 親子活動 こひつじクラブ開始
  - 22日 牛久センター運営委員会
  - 26日 障がい児・者自立支援活動 たんぼぼクラブ
  - 27日 中高生定例野外活動 わんぱくクラブ
  - 28日 みんなの食堂

- (6月の予定)
- 4日 早天祈祷会
  - 4日 主任会
  - 6日 職員礼拝・職員会
  - 9日 小学生デイキャンプクラブ わいっこクラブ・体験会
  - 10日 中高生デイキャンプクラブ ユースクラブ
  - 11日～17日 モンゴル留学生受け入れプログラム「みらいへぐール」
  - 16日 障がい児者自立支援活動 たんぼぼクラブ
  - 16日～17日 第7回日本YMCA同盟協議会@東山壮
  - 23日 茨城YMCA総会
  - 24日 高学年デイキャンプクラブ トムソーヤ
  - 25日 キリスト教理解研修
  - 28日 みんなの食堂
  - 30日 第12回YMCA音楽祭

現在茨城YMCAではモンゴルとの交流を深めております。5月にスタッフがモンゴルに出張し、今月より留学生の受け入れを開始しております。

【編集後記】

今年も梅雨がやってきました。洗濯物が乾かないという点では鬱陶しい季節ですが、私は雨は嫌いではありません。強い雨は世界をまるごと洗い流してくれるような気持ちになりますし、しとしとと降る雨も風情があって、傘なしで歩いてもいいような気分になります。ひとところに比べれば、「酸性雨」などという言葉も聞かなくなりました。

ワイズもまた新年度のスタートです。3年目の書記を担当することとなります。ワイズメンバーのみなさま、スタッフのみなさまにはいつもサポートいただき感謝しております。引き続き、仕事と家庭との両立、頑張ってもらいますのでどうぞよろしくお願いいたします。(村田)

<写真>

左：北海道でカニを食べてきました。ライラックの花が綺麗でした。右：京都駅で豪華クルーズトレイン「瑞風」に遭遇!

